

CentreCOM®
LA100-PCI-T
V3

ユーザーマニュアル

©1999 アライドテレシス株式会社

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

本製品を分解しないでください。感電や故障の原因となります。



稲妻危険

稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分などに素手で触れないでください。



取り付け及び取り外し時の注意

コンピュータの拡張スロットに本製品を取り付ける作業は、必ずコンピュータの電源を切ってから行ってください。また、コンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



取り扱いは丁寧に

落としたり、ぶつかけたり、強いショックを与えないでください。



設置、ケーブル配線、移動は電源を抜いて

本製品の設置、ケーブル配線、移動などを行う場合は、必ずコンピュータの電源ケーブルを抜いて行ってください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- 直射日光の当たる場所
- 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- 湿気が多い場所や、水などの液体がかかる場所
- 振動の激しい場所
- ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因にもなります）
- 腐食性ガスの発生する場所
- スピーカ付近などの強磁界



動作温度と湿度

本製品は指定された動作周囲温度および湿度の範囲内でご使用ください。周囲温度および湿度の範囲は本マニュアル付録に記載されています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

はじめに

「CentreCOM LA100-PCI-T V3」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは本製品を正しくご使用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管していただきますようお願いいたします。

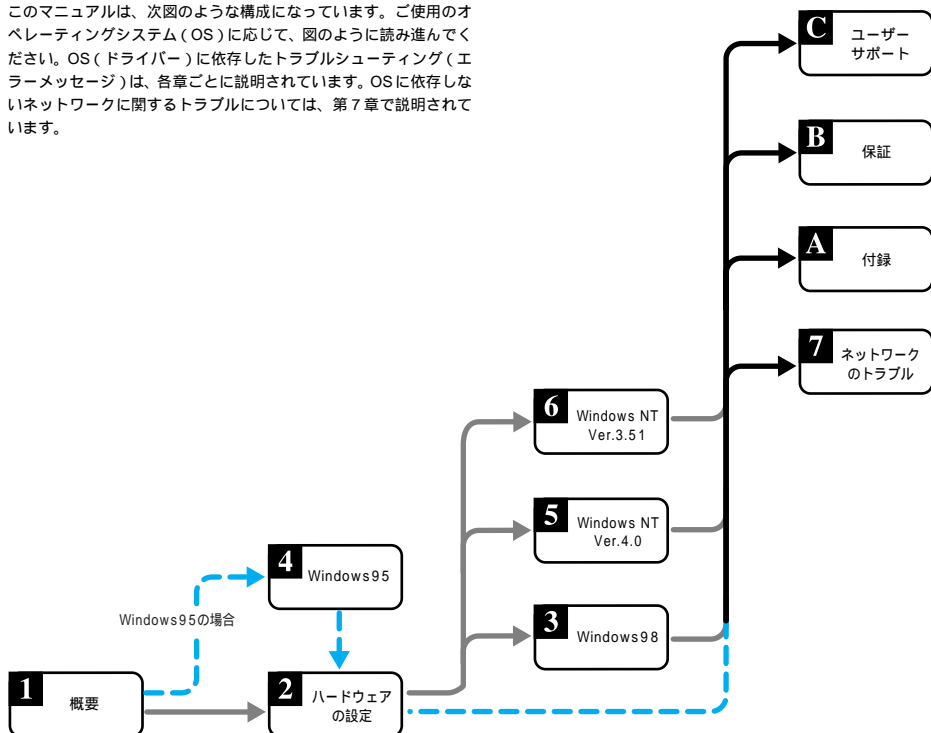
内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認ください。万一不足するものがございましたら、お手数ですがお買い求めの販売代理店までご連絡ください。

- LA100-PCI-T V3 本体
- ドライバーディスク（2枚）
- ユーザーマニュアル
- 製品保証書（永久保証）
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- WOL ケーブル

このマニュアルの構成

このマニュアルは、次図のような構成になっています。ご使用のオペレーティングシステム（OS）に応じて、図のように読み進んでください。OS（ドライバー）に依存したトラブルシューティング（エラーメッセージ）は、各章ごとに説明されています。OS に依存しないネットワークに関するトラブルについては、第7章で説明されています。



ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 互換機またはPC98-NX」、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9800またはPC-9821」における一般的なドライブ名を下記に挙げます（必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください）。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「A:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

目次

はじめに	3	4.6.1 本製品を認識しない	23
内容物をご確認ください	3	4.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く	23
このマニュアルの構成	3	4.6.3 違うドライバーがインストールされた	24
ドライブ名「A:」「C:」「D:」	3	4.6.4 リソース値重複の回避	24
1 概要	5	5 Windows NT Ver. 4.0	25
1.1 特長	5	5.1 インストール時のご注意	25
1.2 使用環境	5	5.2 ドライバーのインストール	25
1.2.1 対応コンピュータ機種	5	5.2.1 用意するもの	25
1.2.2 対応オペレーティングシステム	5	5.2.2 新規インストール	25
1.3 各部の名称と働き	5	5.3 インストールの確認とアダプターの設定	28
1.3.1 各部の説明	5	5.3.1 リソース値の確認	28
1.3.2 動作表示LED	6	5.3.2 ドライバーの設定	29
1.4 ドライバーディスク	6	5.4 本製品を使用しないとき	30
2 ハードウェアの設定	7	5.5 ドライバーの削除	30
2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し	7	5.6 ドライバーの再インストール	30
2.1.1 コンピュータへの取り付け	7	6 Windows NT Ver. 3.51	31
2.1.2 コンピュータからの取り外し	7	6.1 インストール時のご注意	31
2.2 イーサネットへの接続	7	6.2 ドライバーのインストール	31
2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続	7	6.2.1 用意するもの	31
2.2.2 リンクの確認	8	6.2.2 新規インストール	31
3 Windows98	9	6.3 インストールの確認とアダプターの設定	34
3.1 ドライバーのインストール	9	6.3.1 リソース値の確認	34
3.1.1 用意するもの	9	6.3.2 ドライバーの設定	34
3.1.2 新規インストール	9	6.4 本製品を使用しないとき	35
3.2 インストールの確認とアダプターの設定	11	6.5 ドライバーの削除	35
3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	11	6.6 ドライバーの再インストール	36
3.2.2 ネットワークの設定	11	7 ネットワークのトラブル	37
3.2.3 ドライバーの設定	12	A 付録	38
3.3 ドライバーの更新	13	A.1 製品仕様	38
3.4 ドライバーの削除	14	A.2 10BASE-T/100BASE-TX インターフェース	38
3.5 ドライバーの再インストール	15	A.3 MAC アドレス	38
3.6 ドライバーのトラブル	15	A.4 Wake on LAN®	39
3.6.1 本製品を認識しない	15	A.4.1 Wake on LAN® とは	39
3.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く	16	A.4.2 Wake on LAN® の必要条件	39
3.6.3 違うドライバーがインストールされた	16	A.4.3 Wake on LAN® コネクタへの接続	39
3.6.4 リソース値重複の回避	16	A.4.4 Magic packet	39
4 Windows95	17	B 保証	40
4.1 インストールの前に	17	C ユーザーサポート	40
4.1.1 Windows95 でのインストール手順	17	C.1 調査依頼書のご記入にあたって	40
4.1.2 Windows95 のバージョンの確認	17	C.2 システムレポートの出力方法	40
4.2 ドライバーのインストール	17	C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法	41
4.2.1 用意するもの	17	ご注意	41
4.2.2 新規インストール	18	商標について	41
4.3 インストールの確認とアダプターの設定	20		
4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認	20		
4.3.2 ネットワークの設定	21		
4.3.3 ドライバーの設定	21		
4.4 ドライバーの削除	22		
4.5 ドライバーの再インストール	23		
4.6 ドライバーのトラブル	23		

1 概要

本製品の特長、使用環境、各部の名称について説明します。

1.1 特長

本製品は PCI 規格に適合したバスを持つコンピュータを Fast Ethernet Baseband LAN システムに接続するための LAN アダプターです。

本製品は IEEE802.3 10BASE-T 規格とともに、IEEE802.3u Fast Ethernet規格に準じた100BASE-TX規格に適合しており、ご使用のネットワーク環境に応じて 10M/100M Ethernet を自動的に切り替えて動作します。

- 32bit バス・マスタ転送方式を採用
- 100M/10Mbps 通信を同一のポート(RJ-45 コネクター)でサポート (自動切替)
- 100M/10Mbps 通信で Full duplex (全二重) 通信が可能 (自動切替)
- PCI BIOS によるオートコンフィグレーション (I/O アドレス、インタラプトレベルの自動設定)
- 動作状態を表示する 4 個の LED が付属
- Auto-negotiation 機能搭載
- ACPI に対応¹
- Wake on LAN[®] 機能に対応^{1,2}



†1 ACPI 機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム(OS)、ドライバーのもとでご使用になります。
†2 Wake on LAN[®]機能に対応したコンピュータ、オペレーティングシステム(OS)、BIOSのもとでご使用になります。Wake on LAN[®]について詳しくは、「A.4 Wake on LAN」を参照してください。



注意

レジューム機能について
本製品を使用中は、レジューム機能は使用しないでください。本製品を使用中にコンピュータがサスペンド状態になった場合、通信の切断や、その他予期しないエラーが発生することがあります。

1.2 使用環境

1.2.1 対応コンピュータ機種

本製品は、PCIバスコネクターを持つ以下のコンピュータ機種に対応しています。

- AT 互換機および NEC PC98-NX
- NEC PC-9800/PC-9821 シリーズ

1.2.2 対応オペレーティングシステム

本製品は、次のオペレーティングシステム(OS)に対応しています(日本語版のみ)。

PC/AT 互換機 (DOS/V 機)

- MS-DOS Ver5.0 以上
- Windows 3.1
- Windows95/98
- Windows NT3.51 以上(x86 版)

NEC PC-98 シリーズ

- MS-DOS Ver5.0/V 以上
- Windows 3.1
- Windows95/98
- Windows NT3.51 以上(x86 版)

NEC PC98-NX シリーズ

- Windows95/98
- Windows NT4.0 以上(x86 版)

1.3 各部の名称と働き

1.3.1 各部の説明

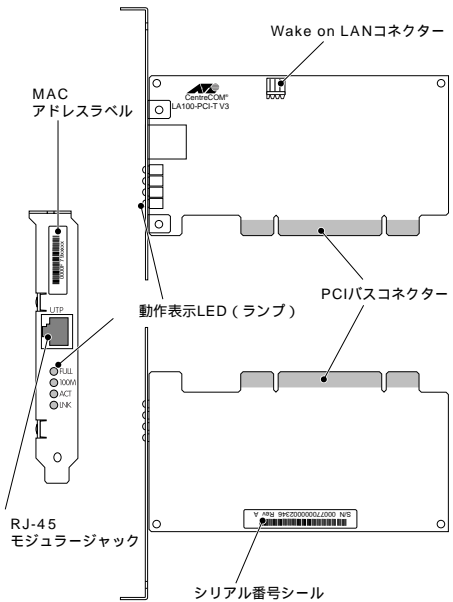


図 1.1 外観図

シリアル番号シール

製品のシリアル番号(製造番号)とリビジョンコードが記載されています。これらはユーザーサポートへの問い合わせの際に必要となります。

動作表示 LED (ランプ)

動作状態を 4 個の LED (ランプ) で表示します。詳細は「1.3.2 動作表示 LED」をご覧ください。

MAC アドレスラベル

各製品に固有の MAC アドレスが記載されています。MAC アドレス

については「A.3 MAC アドレス」をご覧ください。

RJ-45 モジュージャック

ネットワークケーブルを接続するコネクタです。使用するネットワークケーブルについては「2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続」をご覧ください。

PCI バスコネクタ

本製品とコンピュータのインタフェースとなるコネクタです。この部分は素手で触らないようにしてください。

Wake on LAN コネクタ

Wake on LAN[®] 機能を使用するとき、本製品に付属の WOL ケーブルでコンピュータと接続します。Wake on LAN[®] 機能を使用しないときは、接続する必要はありません。

1.3.2 動作表示 LED

本製品には動作状態を表示する 4 個の LED (ランプ) が装備されています。各 LED の名称と動きは以下の通りです。

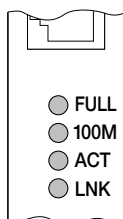


図 1.2 動作表示 LED

(上から)

FULL (緑)

Full duplex モード (全二重通信) のときに点灯します。

100M (緑)

100Mbps で通信が行われているときに点灯します。

ACT (緑)

本製品がパケットを送受信すると点灯します。

LNK (緑)

本製品とハブの間でリンクが成立すると点灯します。

1.4 ドライバーディスク

本製品には、下記の 2 種類のドライバーディスクが付属しています。ご使用のコンピュータ機種に合わせてご使用ください。

- AT 互換機 / NEC PC98-NX 用
- NEC PC-9800/PC-9821 用

必ず、ドライバーディスクに含まれる「README」ファイルをお読みください。「README」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報に記載されています。

2 ハードウェアの設定

本製品をコンピュータに取り付け、イーサネットに接続するまでの手順を説明します。この手順を実行することにより、ネットワーク環境を提供するドライバーソフトウェアをインストールする準備が整います。

Windows95をご使用の場合は「4 Windows95」を先にお読みください。



本製品をWindows95上でご使用になる場合はハードウェアの設定の前にドライバーをインストールしますので、本章の前に第4章を先にお読みください。

2.1 コンピュータへの取り付け・取り外し

以下に示す手順に従い、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けてください。

コンピュータ本体のカバーの取り外し・アダプターの取り付けの詳細は、ご使用になるコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1.1 コンピュータへの取り付け

- (1) コンピュータ上で動作しているソフトウェアを全て終了し、本体の電源をオフにしてください。
- (2) 安全のためにコンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



コンピュータの拡張スロットに本製品を実装する作業は、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

- (3) コンピュータの本体カバーを外してください。
- (4) スロットカバーを固定しているねじを外し、スロットカバーを外してください。
- (5) バス・マスタ用の空きスロットを確認します。バス・マスタスロットの位置は、お使いのコンピュータのマニュアルを参照してください。
- (6) 本製品を拡張スロット(バス・マスタ用)にしっかりと奥まで挿し込んでください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (7) Wake on LAN® 機能を使用するときは、Wake on LAN® コネクタに本製品に付属のWOLケーブルを接続します。Wake on LAN® の接続方法については、「A.4 Wake on LAN」を参照してください。

- (8) (4)で外したねじを使用して、本製品を固定してください。このねじは必ず取り付けてください。

- (9) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

ネットワーク接続に必要なハードウェア設定(DMA、IRQ、I/Oアドレスなど)は、本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けただけで自動的に行われます。



本製品と、Plug&Playに対応していないISA仕様の他の拡張アダプター(ボード)を併用する場合、ISA Configuration Utility (ICU)を使用して、ISA仕様の拡張アダプターのための設定をコンピュータに施しておく必要があります。ISA Configuration Utilityに関しては、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

2.1.2 コンピュータからの取り外し

- (1) コンピュータへの取り付け手順の(1)～(3)と同様に、コンピュータの本体カバーを外します。
- (2) 本製品を固定しているねじを外します。
- (3) 本製品をゆっくり引き抜きます。引き抜く時は左右に振らずに真っすぐ引き抜いてください。



本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、PCIバスコネクターの接点部分、部品などに素手で触れないでください。

- (4) スロットカバーを元どりに取り付けてください。
- (5) コンピュータの本体カバーを取り付けてください。

2.2 イーサネットへの接続

次に、本製品をイーサネットに接続します。この作業はネットワーク環境を提供するソフトウェアパッケージをインストールする前に行います。



ただし、Windows95の場合は例外としてドライバーをインストールしたあとでハードウェアの設定(ボードの拡張スロットへの取り付けから)を行います。詳細は「4 Windows95」をご覧ください。

2.2.1 本製品とネットワークケーブルとの接続



稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。

- (1) ご使用の環境に合ったネットワークケーブル(ツイステッドペアケーブル)を用意します。詳細は以下をご覧ください。

100BASE-TX 用

必ずカテゴリ-5のケーブルをご使用ください。カテゴリ-5以外のケーブルを使用した場合、「リンクできない」、「通信でエラーが発

生ずる、「通信できない」などの障害が発生します。ツイストペアケーブルのカテゴリーは、外見では識別できないので、何種類ものカテゴリーのケーブルを混在して使用している場合は特にご注意ください。

10BASE-T用

カテゴリー5、4、3のケーブルを使用することができます。

- (2) ネットワークケーブルの一方の端に付いたモジュラープラグを本製品のRJ-45モジュラージャックに、カチッと音がするまで押し込んでください(両端のプラグのどちらでも構いません)。
- (3) ネットワークケーブルを引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
- (4) ネットワークケーブルのもう一端のモジュラープラグをハブのコネクタ(UTP)に押し込んでください。手順は、上記(2)と同様です。



ネットワークケーブルの外し方

UTPケーブルのRJ-45プラグは、プラグの爪を指で押さえながら手前に引くと、抜くことができます。

2.2.2 リンクの確認

最後に、ハブとコンピュータの両方の電源をオンにし、本製品のLINK LEDとハブのLINK OK LEDの両方が点灯することを確認します。点灯が確認できれば、ネットワークへの接続は正常に完了しています。



"LINK OK" LEDの名称はハブの機種により異なります。また、"LINK OK" LEDを持たない機種もありますので詳細はハブのマニュアルでご確認ください。

どちらか一方しか点灯していない、または両方が消灯している場合は本製品とハブは正しくリンクしていません。その場合はご使用のネットワークケーブルがしっかり接続されていない、または断線している、あるいは適切なものを使用していないなどの原因が考えられます。ケーブル類の接続をし直す、ケーブル類を交換してみる、ハブのポートを入れ替えてみるなどの対策を行ってください。

3 Windows 98

本製品のドライバーをWindows98上にインストールする手順を説明します。



注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT互換機/PC98-NXへのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

3.1 ドライバーのインストール

3.1.1 用意するもの

- LA100-PCI-T V3本体・UTPケーブルなど
- コンピュータ（Windows98インストール済み）
- LA100-PCI-T V3ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows98のCD-ROM

ドライバーディスクは「AT互換機/NEC PC98-NX用」「NEC PC-9800/PC-9821用」の2枚が用意されていますのでご注意ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

プリインストール版Windows98をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますのでCD-ROMは必要ありません。ただし、一度OSを削除し、再インストールしている場合は必要です。



注意

Windows98がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows98のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクにWindows98のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.1.2 新規インストール

本製品のドライバーをWindows98に新規インストールする手順を説明します（ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します）。

- (1) 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows98を起動してください。
- (2) Windows98は本製品を自動的に検出し、次のダイアログを表示します。「次へ>」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.1 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の起動



注意

（PC-9800/PC-9821では、「次の新しいドライバを検索しています:」のところに、「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」と表示されます。）

- (3) 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

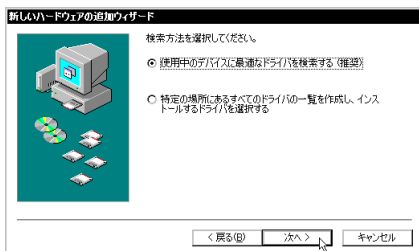


図 3.1.2 検索方法の選択

- (4) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「検索場所の指定」を選択して、「A:¥WINDOWS.98」を入力し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。（ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。）

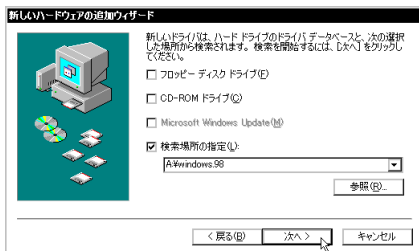


図 3.1.3 検索場所の指定

- (5) 「更新されたドライバ(推奨) (Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter)」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

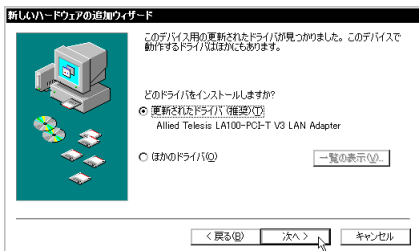


図 3.1.4 更新されたドライバを選択

- (6) ダイアログの内容を読み、「次へ>」ボタンをクリックしてください。

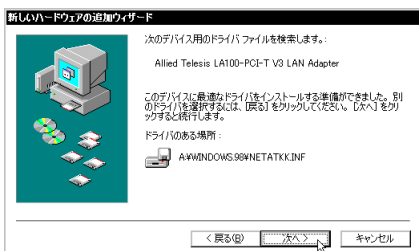


図 3.1.5 ドライバファイルの検索

- (7) 次のようなダイアログが表示される場合、本製品のドライバーディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー」に「A:\WINDOWS.98」を入力してください。（ここでは、フロッピーディスクドライブを A: と仮定します。）



図 3.1.6 ドライバディスクの要求

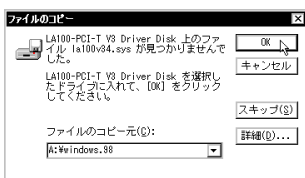


図 3.1.7 ドライバの所在の指定

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows 98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー」に「D:\WIN98」を入力してください。（ここでは、CD-ROM ドライブを「D:」と仮定します。）



図 3.1.8 Windows 98 CD-ROM の要求

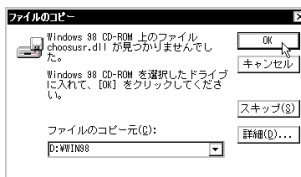


図 3.1.9 Windows 98 関連ファイルの所在の指定



注意

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー」に「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」を入力してください（AT 互換機/PC98-NX）。PC-9800/PC-9821 では、「A:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」を入力してください。

- (8) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 3.1.10 完了

- (9) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動してください。

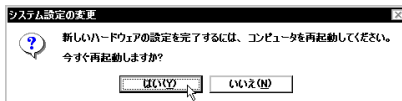


図 3.1.11 再起動

- (10) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」に進みください。



注意

インストール後の再起動時に、次のようなダイアログが表示されることがあります。DHCP サーバを使用していない場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。また、DHCP サーバを使用している場合（例えば、ケーブルモデムを使用したインターネット接続等）は、「はい」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になる場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。

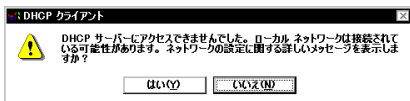


図 3.1.12 DHCP メッセージ

3.2 インストールの確認とアダプターの設定

はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。



図 3.2.1 コントロールパネル

- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストーラーが正常に行われていれば「ネットワークアダプタ」の下に、「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」が表示されます。



図 3.2.2 システムのプロパティ

本製品のアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、

あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「3.6 ドライバのトラブル」をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」「全般」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 3.2.3 デバイスの状態

- (4) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ) など、は Windows 98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。

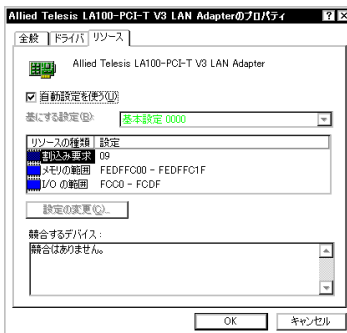


図 3.2.4 リソースの確認

3.2.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。



図 3.2.5 ネットワークの設定



図 3.2.7 ネットワークメディアの設定

3.2.3 ドライバーの設定

本製品に関する設定を行います。

- 図 3.2.5 で「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」 「プロパティ」 「ドライバの種類」と進み、「エンハンスモード」(デフォルト) に設定します。

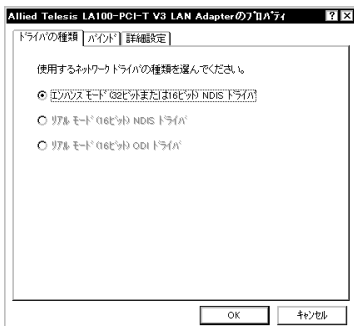


図 3.2.6 ドライバの種類

- 次に、「詳細設定」タブでネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

100Mbps Full Duplex

100Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

100Mbps Half Duplex

100Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

10Mbps Full Duplex

10Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

10Mbps Half Duplex

10Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

Auto-Negotiation (デフォルト)

Auto-negotiation を有効 (Enable) に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のようになりますのでご注意ください。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合
可能な最高の速度 (10/100 Mbps) およびモード (Full/Half duplex) となります。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合
対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度 (100/10 Mbps) のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、対向機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度 (100Mbps Full duplex) を得るためには、前述の「100Mbps Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

Magic Packet Mode

Off (Default)

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可しないようにします。

On

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可します。

3.3 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、本製品用の最新のドライバーを入手したとき
に実行します。

- (1) Windows98のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブ
に入れてください。(プリインストール版Windows98をご使用
の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされて
いますのでCD-ROMは必要ありません。ただし、一度OSを削
除し、再インストールしている場合は必要です。)
- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」
と進みます。「ネットワークアダプタ」をダブルクリックし、そ
の下に表示される「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN
Adapter」を選択して、「プロパティ」ボタンをクリックしてく
ださい(図 3.2.2)。
- (3) 次のダイアログで「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの
更新」ボタンをクリックしてください。

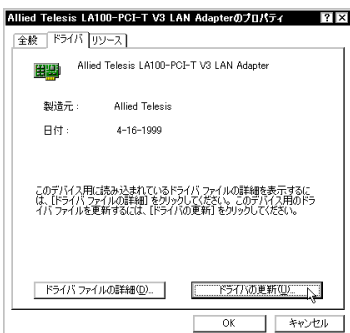


図 3.3.1 本製品のプロパティ(「ドライバ」タブ)

- (4) 「次へ>>」ボタンをクリックしてください。



図 3.3.2 更新されたドライバーの検索

- (5) 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インス
トールするドライバを選択する」ラジオボタンを選択し、「次
へ>>」ボタンをクリックしてください。

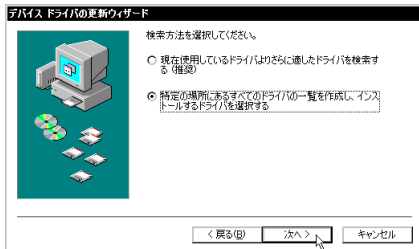


図 3.3.3 検索方法の選択

- (6) 次のダイアログが表示されたら、「ディスク使用」ボタンをク
リックします。



図 3.3.4 ドライバーインストールにはディスクを使用

- (7) 本製品の最新のドライバーディスクをフロッピーディスクド
ライブに入れ、次のダイアログで「A:*\windows.98」と入力して、
「OK」ボタンをクリックしてください。(ここでは、フロッピー
ディスクドライブをA:と仮定します。)

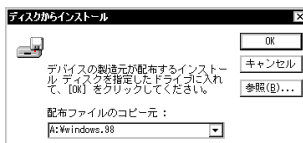


図 3.3.5 ドライバーの所在の指定

- (8) Windows98によってドライバーディスクが検索され、次のダ
イアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてくださ
い。ダイアログが閉じ、図 3.3.4の画面に戻りますが、画面が
自動的に閉じて、手順(9)の図 3.3.7の画面が表示されるまで、
そのまましばらくお待ちください。(1 - 2分)

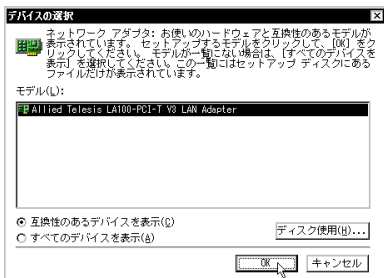


図 3.3.6 選択するドライバー

- (9) 次のダイアログで、「ドライバのある場所」が「A: %WINDOWS.98%NETATK.INF」となっていることを確認し、「次へ>>」ボタンをクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)

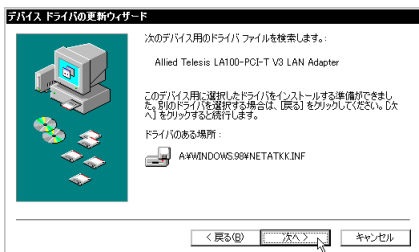


図 3.3.7 ドライバファイルの検索

- (10) 次のようなダイアログが表示される場合、本製品のドライバーディスクがフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「A:%windows.98」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)



図 3.3.8 ドライバディスクの要求

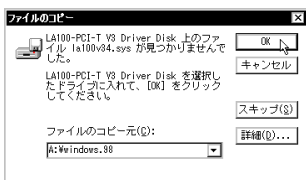


図 3.3.9 ドライバの所在の指定

また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows98のCD-ROMがCD-ROMドライブに挿入されていることを確認し、「ファイルのコピー元」に「D:%WIN98」を入力してください。(ここでは、CD-ROMドライブを「D:」と仮定します。)



図 3.3.10 Windows98 CD-ROMの要求

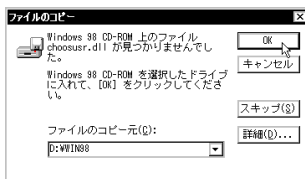


図 3.3.11 Windows98 関連ファイルの所在の指定



注意

ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」に「C:%WINDOWS%OPTIONS%CABS」を入力してください(AT 互換機/PC98-NX)。PC-9800/PC-9821では、「A:%WINDOWS%OPTIONS%CABS」を入力してください。

- (11) 「完了」ボタンをクリックしてください。

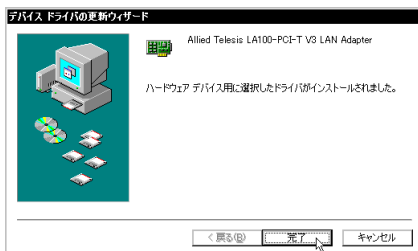


図 3.3.12 完了

- (12) フロッピーディスクドライブからドライバーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてください。コンピュータは、更新されたドライバーを使用して再起動します。

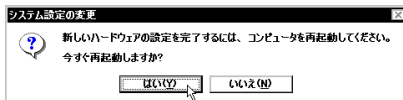


図 3.3.13 再起動

- (13) 「3.2 インストールの確認とアダプターの設定」を実行してください。

3.4 ドライバの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にならない、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから、再びインストール作業を行います。

- (1) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis

LA100-PCI-T V3 LAN Adapter を選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.1 ドライバーの削除

- (2) 次のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 3.4.2 デバイス削除の確認

- (3) 次のダイアログが表示されたら、「いいえ」ボタンをクリックしてください。

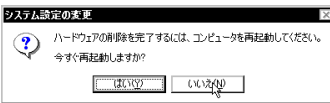


図 3.4.3 再起動の確認

- (4) 「ネットワークアダプタ」の下の本製品のアイコンが消えていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.4.4 削除後のデバイスマネージャ

- (5) Windows98を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして、拡張スロットから本製品を取り外してください。
- (6) 次回のWindows98起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

3.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」の手順にしたい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「3.1 ドライバーのインストール」の手順にしたい本製品のドライバーをインストールします。

3.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

3.6.1 本製品を認識しない

「3.2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない
 「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている



- この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。
- ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などのWindows98関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
 - 図3.1.7 (la100v34.sysの要求)において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」アイコンを選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「3.4 ドライバーの削除」の手順(2)以降を実行してください。
- (3) 「3.1 ドライバーのインストール」の手順にしたい本製品のドライバーをインストールします。

3.6.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します（図 3.2.3）。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

3.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーインストール時の検索場所の指定（3.1.2の手順(4)）で本製品に付属のフロッピーディスクではなく、CD-ROMを指定してしまった場合、次のドライバーが組み込まれます。

- AT 互換機 / PC98-NXの場合
「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」
- PC-9800/PC-982の場合
「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」

不適切なドライバーがインストールされたときは、次の手順で正しいドライバーをインストールし直します。

- (1) 「3.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは誤ってインストールされたドライバーです。
- (2) 「3.1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

3.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Playに対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値をWindows98に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他のPlug & Play対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれているPCIやISAの設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ）、I/Oベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

- (2) 「コントロールパネル」、「システム」、「デバイスマネージャ」、「コンピュータ」、「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。

- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4 Windows 95

本製品のドライバーをWindows95上にインストールする手順を説明します。



注意

ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT互換機/PC98-NXへのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9821の場合、ディスクドライブ名などが異なります。

4.1 インストールの前に

4.1.1 Windows95でのインストール手順



注意

本製品をWindows95でご使用いただく場合、付属のインストーラの仕様により、拡張スロットに本製品を取り付ける前に、ドライバーをインストールします。この点は、他のドライバーのインストールと異なるのでご注意ください。

本製品用ドライバーをインストールする手順は以下の通りです。具体的な手順は次ページ以降をご覧ください。

1. 本製品付属のドライバーディスクから、ドライバーをインストールします。インストールには専用のインストーラ (Inst95.bat) を使用します。
2. コンピュータの電源をオフにし、本製品をコンピュータの拡張スロットへ取り付けます。(「2 ハードウェアの設定」参照)
3. コンピュータの電源を再びオンにし、Windows95に本製品を認識させます。再起動後、必要に応じてネットワークに関する設定を行います。

4.1.2 Windows95のバージョンの確認

Windows95には、Version95Q、VersionA、VersionB、VersionCの4種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製品のドライバー・インストール時に表示されるメッセージが異なります。まず、ご使用のWindows95のバージョンを確認し、「4.2 ドライバーのインストール」に進んでください。

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95を起動してください。
- (2) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください。
- (3) 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックしてください。

Version95Q

「システム：」の番号が「4.00.950」であれば Version95Qです。



図 4.1.1 Version95Q

VersionA

「システム：」の番号が「4.00.950a」であれば VersionAです。



図 4.1.2 VersionA

VersionB、VersionC

「システム：」の番号が「4.00.950 B」であれば VersionB、「4.00.950 C」であれば VersionCです。



図 4.1.3 VersionB/C

4.2 ドライバーのインストール

4.2.1 用意するもの

- LA100-PCI-T V3本体・UTPケーブルなど
- コンピュータ (Windows95インストール済み)
- LA100-PCI-T V3ドライバーディスク (本製品に付属)
- Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスク

ドライバーディスクは「AT互換機/NEC PC98-NX用」「NEC PC-9800/PC-9821用」の2枚が用意されていますのでご注意ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

プリインストール版Windows95をご使用の場合は必要なファイルが予めハードディスクにコピーされていますのでマスターディスクは必要ありません。ただし、一度OSを削除し、再インストールしている場合は必要です。



警告

Windows95がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows95のバックアップCD-ROMが付属しているかどうかをご確認ください。バックアップCD-ROMが付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクにWindows95のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

まだボードをスロットに取り付けしないでください



本製品のスロットへの取り付けは必ずドライバーをインストールした後で行います。誤ってドライバーがインストールされていない状態で本製品をスロットに取り付けた場合、Windows95は起動時に不適切なドライバーを自動的に(Plug&Play機能により)組み込んでしまう可能性があり、この場合本製品は正常に動作しません。Plug&Playにより不適切なドライバーを組み込んでしまった場合は、「4.6 ドライバーのトラブル」を参照して正しいドライバーをインストールし直してください。



不適切なドライバーが組み込まれた場合、Windows95はデバイスマネージャ(コントロールパネル)でアイコンに「?」マークをつけてエラーを知らせます。詳細は「4.6 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

4.2.2 新規インストール

それでは、インストールを始めます。この段階では、まだ本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けしないでください。ここに挙げる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順が異なることがあります。また、本書では、AT互換機/PC98-NXへのインストールを例にして説明します。PC-9800/PC-9820の場合、ディスクドライブ名などが異なります。



通常、Windows95はAMDイーサネットコントローラチップを搭載したLANアダプター(本製品を含む)に対して、Windows95の供給メディア(フロッピーディスクまたはCD-ROM)に標準で搭載されている汎用のドライバーを一緒に自動的に組み込みます。本製品はこの汎用ドライバーではなく、専用のドライバーでのみ動作する仕様となっているため、インストーラはWindows95に予め「専用ドライバーを使用する」ことを教え、誤って汎用ドライバーを組み込むことを防止しています。

4.2.2.1 インストーラによるドライバーの組み込み

- (1) コンピュータの電源を入れ、Windows95を起動します。
- (2) ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、インストーラ *Inst95.bat を起動します。起動の方法には以下のようなものがあります。

「スタート」「ファイル名を指定して実行(R)」と進み、
*Inst95.bat を指定する
*Inst95.bat アイコンをダブルクリックする



図 4.2.1 Inst95.bat アイコン

- (3) インストーラが起動し、MS-DOS プロンプトの画面が表示されます。以下のように尋ねられますので、「Y」を入力してください。

CentreCOM.LA100-PCI-TV3Driver

インストールファイルを

コピーしますか?[Y.N]?

- (4) ドライバーおよび関連ファイルがハードディスクにコピーされます。完了すると以下のようなメッセージが表示されます。どれかキーを押してください。

ファイルは正常にコピーされました。このプログラムを終了します。
続けるにはどれかキーを押してください...

- (5) ウィンドウの角の終了ボタンをクリックし、MS-DOS プロンプトを終了します。

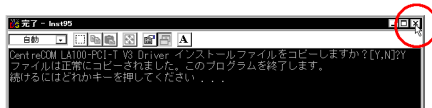


図 4.2.2 MS-DOS プロンプトの終了

- (6) 次に、本製品を拡張スロットに装着しますので、ドライバーディスクを取り出して一旦コンピュータの電源(「スタート」「Windows の終了」)をオフにしてください。

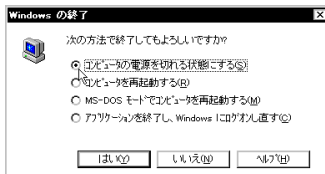


図 4.2.3 Windows の終了

- (7) 引き続き、本マニュアル第2章へ戻り、ハードウェアの設定を行います。設定の内容は以下の通りです。

拡張スロットへ本製品を取り付ける
本製品をネットワークに接続する

- (8) ハードウェアの設定が終了したら、引き続き、「4.2.2.2 Windows95 ファイルのコピー(再起動後)」へお進みください。

4.2.2.2 Windows 95 ファイルのコピー(再起動後)

- (1) ハードウェアの設定が完了したら、再びコンピュータの電源をオンにします。Windows95はPlug&Play機能により、本製品を「PCI Ethernet Controller」および「LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」として検出します。



ご使用のコンピュータに初めてLANアダプターをインストールする場合は、ここでコンピュータをネットワーク上で識別するための情報(コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明)の入力を促すダイアログが表示されます。詳細はシステム管理者にご確認ください。なお、このダイアログの内容をインストール終了後に変更するには、「ネットワーク(コントロールパネル)をダブルクリックし、「ユーザー情報」タブを選択してください。

- (2) 再起動後、次のようなダイアログが表示されることがあります。本製品のドライバーディスクをディスクドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.4 ドライバーディスクの要求

続いて、下のようなダイアログが表示されます。「ファイルのコピー元」に「A:¥windows.95」を入力してください。（ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。）



図 4.2.5 ドライバーの所在の指定

- (3) 必要な Windows95 ファイルのコピーが始まります。Windows95のマスターディスクが要求されますので、「OK」ボタンをクリックし、ご使用の形態に応じて以下のようにパスを入力します。



図 4.2.6 マスターディスクの要求（例）

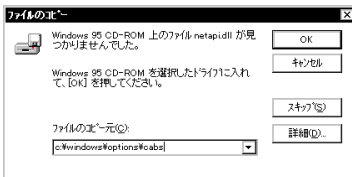


図 4.2.7 ファイルのコピー元の指定（プリインストール版）

プリインストール版 Windows95 の場合

この場合はWindows95ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「ファイルのコピー元」に「C:¥windows¥options¥cab」を指定してください。（ここではWindows95の起動ディスクをC:と仮定します。）



機種によっては¥windows¥options¥cabと異なる場所に保存されていることもあります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧ください。また、検索コマンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパスを指定してください。

CD-ROMの場合

CD-ROMをドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN95」を入力してください。（ここでは、CD-ROMドライブをD:と仮定します。）

フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元」で「A:¥」を入力してください。（ここではフロッピーディスクドライブをA:と仮定します。）

- (4) 次のダイアログが表示された場合は（ご使用のコンピュータではじめてネットワークアダプターをインストールする場合）、内容を読んだ上で「OK」ボタンをクリックしてください。



図 4.2.8 ネットワーク設定要求ダイアログ

続いて次のダイアログが表示されます。システム管理者に確認の上、コンピュータ名、ワークグループ名およびコンピュータの説明（省略可）を入力してください。

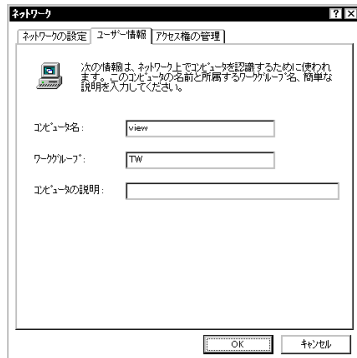


図 4.2.9 ユーザー情報の入力（例）



コンピュータ名およびワークグループ名の入力には15字以下の半角文字を使用します。詳細はWindows95のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。また、このダイアログの内容をインストール後に変更する場合は、「コントロールパネル」「ネットワーク」をダブルクリックし、「ユーザー情報」タブを選択してください。

- (5) 「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクが入っている場合は取り出し、「再起動しますか?」という問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

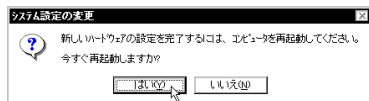


図 4.2.10 システム設定の変更



ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバー（ダイアルアップアダプタ等）がインストールされている場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

- (6) 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「4.3 インストールの確認とアダプターの設定」に進みください。



注意

インストール後の再起動時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IP をご使用になっている場合は、DHCP の設定に関してシステム管理者にご相談ください。



図 4.2.11 DHCP メッセージ

4.3 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」が表示されます。



図 4.3.1 デバイスマネージャ

Windows95 Version 950/A では「OK」は「閉じる」となります。

下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「4.6 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

- (2) 次に、デバイスマネージャで「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」（図 4.3.1 参照）を選択（反転表示）し、「プロパティ」「情報」と進みます。「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。



図 4.3.2 デバイスの状態 (Version 950/A)



図 4.3.3 デバイスの状態 (Version B/C)



Windows95 Version BまたはCをご使用の場合、「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、下のように入「このデバイスには、ドライバファイルは必要でないが、または組み込まれていません。」と表示されますが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありませんので安心してご使用ください。



これらのアイコンに「x」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の



図 4.3.4 「ドライバ」タブ (Version B/C)



図 4.3.6 ネットワークの設定

- (3) 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト (IRQ) などは、Windows95によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます(表示されるまで、時間がかかります)。



図 4.3.6 は Windows95 Version B および C のものです。Version 95a および A の場合は「アクセス権の管理」タブはありません。



図 4.3.5 リソースの確認

4.3.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。必要な項目の設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」ボタンをクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。設定に関する詳細は、システム管理者にご確認ください。

4.3.3 ドライバの設定

本製品に関する設定を行います。

- (1) 図 4.3.6 で「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」「プロパティ」「ドライバの種類」と進み、「エンハンスモード」(デフォルト)に設定します。

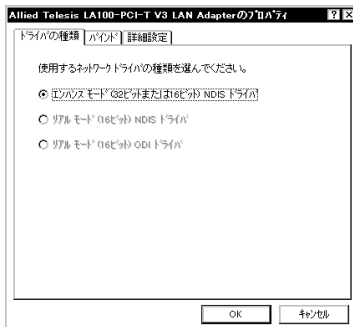


図 4.3.7 ドライバの種類

- (2) 次に、「詳細設定」タブでネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。「値(V)」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 4.3.8 ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

100Mbps Full Duplex

100Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

100Mbps Half Duplex

100Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

10Mbps Full Duplex

10Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

10Mbps Half Duplex

10Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

Auto-Negotiation (デフォルト)

Auto-negotiation を有効 (Enable) に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合
可能な最高の速度 (10/100 Mbp) およびモード (Full/Half duplex) となります。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合
対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度 (100/10 Mbp) のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、対向機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度 (100Mbps Full duplex) を得るためには、前述の「100Mbps Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

Magic Packet Mode

Off (Default)

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可しないようにします。

On

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可します。

4.4 ドライバーの削除

ドライバーのバージョンアップの場合など、ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、この手順にのらい、間違っていないインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。(「4.6 ドライバーのトラブル」もご覧ください。)

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択し、「削除 (E)」ボタンをクリックしてください。



図 4.4.1 ドライバーの削除

- (2) 下のダイアログが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



図 4.4.2 デバイス削除の確認

- (3) 「ネットワークアダプタ」のアイコンが消えていることをご確認ください。



図 4.4.3 削除後のデバイスマネージャ

- (4) 「システムのプロパティ」の「OK」(または「閉じる」)ボタンをクリックしてください。



ここで、「コンピュータを再起動するか」を尋ねられた場合、「いいえ」を選択し、そのまま手順(5)にお進みください。

- (5) 続いて、本製品専用のアンインストーラを起動します。ドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、アンインストーラ "Uninst95.bat" を起動します。以下の方法のいずれかを実行して起動してください。

「スタート」 「ファイル名を指定して実行(R)」と進み、"Uninst95.bat" を指定する。

「マイコンピュータ」 「3.5 インチFD」と進み、"Uninst95.bat" アイコンをダブルクリックする。



図 4.4.4 Uninst95.bat アイコン

- (6) アンインストーラが終了したら、MS-DOSプロンプトウィンドウを閉じます。以上でドライバーの削除の手続きは終了ですので、コンピュータの電源をオフにし、本製品を拡張スロットから取り外してください。
(詳細は「2 ハードウェアの設定」をご覧ください。)

4.5 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「4.4ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「4.2ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

4.6.1 本製品を認識しない

「4.3.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」アイコンの表示が以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

「ネットワークアダプタ」の項目がない

「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている



この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

- ドライバーインストールの作業中に行われる netapi.dll などのWindows95関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
- 図4.2.5 (la100v3.sysの要求) において「キャンセル」をクリックした。

アイコンに「!」「?」マークがある



「?」マークがアイコンについている場合、本製品付属のアンインストーラを実行する前に本製品を拡張スロットに装着し、Windows95 を起動した可能性があります。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」アイコンを選択し、「削除(E)」ボタンをクリックしてください。
- (2) 「4.4ドライバーの削除」の手順(2)以降を実行してください。
- (3) 「4.2ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.2 デバイスマネージャで「x」マークが付く

アイコンに「x」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- (1) 「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択(反転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「情報」タブを表示します(図4.3.2,4.3.3)。
- (2) Version 950またはAの場合、「Original Configuration」にチェック「✓」を付けてください。

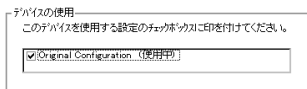


図 4.6.1 デバイスの使用許可の設定 (Version 950/A)

- (3) Version B または C の場合、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェック「✓」を外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェック「✓」を付けてください。

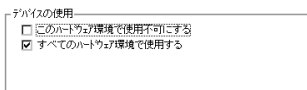


図 4.6.2 デバイスの使用許可の切り替え (Version B/C)

カーにお問い合わせください。

- (2) 「コントロールパネル」「システム」「デバイスマネージャ」「コンピュータ」「コンピュータのプロパティ」パネル「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

4.6.3 違うドライバーがインストールされた

ドライバーがインストールされていない状態で、誤って本製品をスロットに取り付けた場合、Plug&Play により次のドライバーが組み込まれます。

- AT 互換機 / PC98-NX の場合
「AMD PCNET Family Ethernet Adapter (PCI-ISA)」
- PC-9800/PC-982 の場合
「NEC SV-98/2-B05/B6(PCI)」

この場合、次の手順で正しいドライバーをインストールし直します。

- (1) 「4.4 ドライバーの削除」の手順にしたがい不適切なドライバーを削除します。この場合、削除するネットワークアダプタは上記の Plug&Play によりインストールされたドライバーです。
- (2) 「4.2 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

4.6.4 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「？」、「！」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておく、値の重複を回避できます。



コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI や ISA の設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA)) を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メー

5 Windows NT Ver. 4.0

本製品のドライバーをWindows NT Ver. 4.0上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされておらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 4.0 Workstationを使用し、Windows NTが要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えませす。

5.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



注意 Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意 NECPC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされたWindows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



注意 本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



注意 本製品のインストールをWindows NT のインストールと同時にすることは避けてください。必ず、Windows NTのインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT はPlug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行くと、Windows NT のインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

サービスパックについて

Windows NTのサービスパックをインストールしているか確認してください。

「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT診断プログラム」と進むと、「バージョン」タブが表示されます。表示が「Service Pack 2」以上であればサービスパックをインストールしていますので、ドライバーのインストール後、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、Windows NTが起動できなくなることがあります。

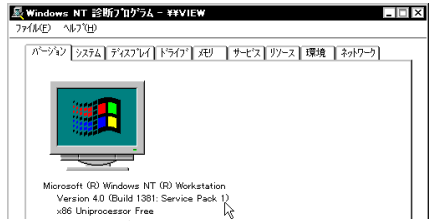


図 5.1.1 サービスパックの確認

5.2 ドライバーのインストール

5.2.1 用意するもの

- LA100-PCI-T V3アダプター本体、UTPケーブルなど
- コンピュータ (Windows NT 4.0インストール済み)
- Windows NTのCD-ROM
- LA100-PCI-T V3ドライバーディスク (本製品に付属)
- Windows NTサービスパック(サービスパックをインストールしている場合のみ)

ドライバーディスクは「AT互換機/NEC PC98-NX用」「NEC PC-9800/PC-982用」の2枚が用意されていますのでご注意ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

5.2.2 新規インストール

- 「スタート」「設定」「コントロールパネル」と進み、「ネットワーク」アイコンをダブルクリックしてください。



図 5.2.1 「ネットワーク」(コントロールパネル)

- 下のダイアログが表示されます。「今すぐインストールしますか?」の問いに対して、「はい(Y)」ボタンをクリックしてください。

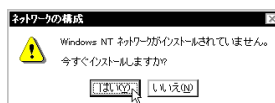


図 5.2.2 ネットワークのインストール開始



「Windows NT ネットワークのインストール」で「まだネットワークに接続しない(D)」を選択したとき、このダイアログが表示されます。このダイアログではなく「ネットワーク」パネルが表示された場合は、既にネットワークに関するWindowsNT ファイルがインストールされています。この場合は「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブ「追加」と進むと、手順(5)の図5.2.5が表示され、本製品 のみのインストールが始まります。

- (3) 「ネットワークセットアップウィザード」ダイアログが表示されます。「ネットワークに接続(W)」にチェックマークを付け、「次へ(N)>」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.3 ネットワークセットアップウィザードの起動

- (4) 以下のダイアログが表示されたら、「一覧から選択(S)...」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.4 ネットワークアダプタは一覧から選択

- (5) 「ネットワークアダプタの選択」ダイアログが表示されます。「ディスク使用(H)...」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.5 ネットワークアダプタの選択にディスクを使用

- (6) 次のダイアログが表示されますので、本製品のドライバディスクをフロッピードライブに挿入し、パス「A:\windows.nt#40」を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。(ここでは、フロッピーディスクドライブをA:と仮定します。)

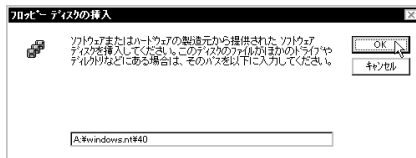


図 5.2.6 ドライバの所在の指定

- (7) 次のダイアログで、「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択し、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.7 選択するドライバーを確認

- (8) 「ネットワークアダプタ(A)」の「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」にチェックマークを付け、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.8 ドライバファイルの検索開始

- (9) 使用するネットワークプロトコルにチェックマークを付け、「次へ(N)」ボタンをクリックしてください。(詳細はシステム管理者にご確認ください。)ここでは、「TCP/IPプロトコル」のみをチェックすると仮定します。

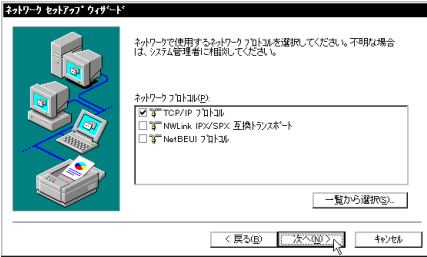


図 5.2.9 使用するネットワークプロトコルをチェック

- (10) 使用するサービスを設定し、「次へ (N)」> ボタンをクリックしてください。お客様のネットワークでどのようなサービスが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。



図 5.2.10 使用するサービスをチェック

- (11) メッセージを確認して、「次へ (N)」> ボタンをクリックしてください。

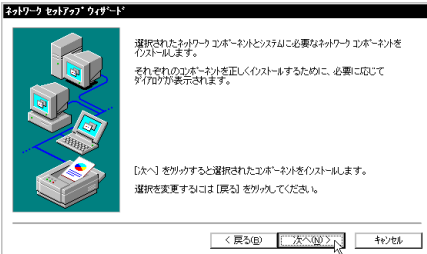


図 5.2.11 ネットワークコンポーネントのインストール

- (12) Windows NT の CD-ROM をドライブに挿入し、AT 互換機 / NEC PC98-NX の場合は「D:¥386」、NEC PC-9800/PC-9821 の場合は「Q:¥PC98」と入力してください。(ここでは CD-ROM のドライブ名を AT 互換機 / NEC PC98-NX では D:、NEC PC-9800/PC-9821 では Q: と仮定します。)

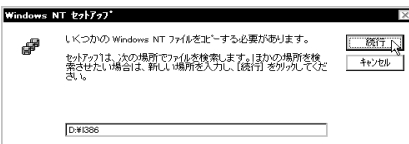


図 5.2.12 WindowsNT ファイルの所在の指定

- (13) ドライバーおよび Windows ファイルのコピーが始まります。手順(9)で「TCP/IP プロトコル」を選択した場合はここで「DHCP を使用する?」を質問されます。ここでは、デフォルトである「いいえ (N)」ボタンをクリックすると仮定します。

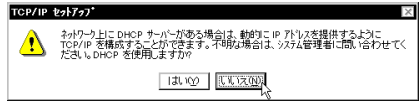


図 5.2.13 DHCP メッセージ

- (14) (13)で「いいえ」ボタンを選択した場合は「TCP/IPのプロパティ」としてIPアドレスなどの値を設定します。以下の説明では、下にまとめたような具体的なアドレス、名称を使用しますが、これらはお客様の環境におけるものを入力してください。

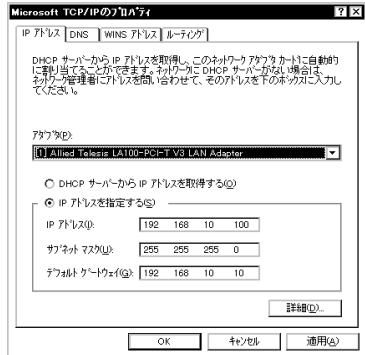


図 5.2.14 TCP/IP の設定 (「IP アドレス」タブ)

- (15) DNS (Domain Name System) の設定をします。「DNS」のタブをクリックしてください。下に入力例を示します。ここでは、ホスト名として「view」を仮定しています。

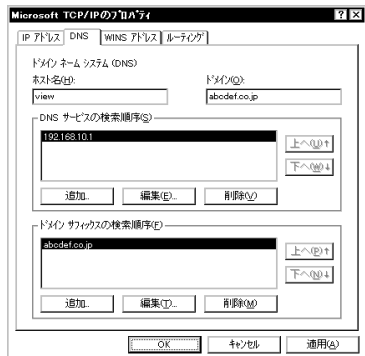


図 5.2.15 TCP/IP の設定 (「DNS」タブ)

- (16) 続いて、「WINS (Windows Internet Name Service) アドレス」の設定を行います。下の画面では、「Windows 名前解決に DNS を使う (N)」を仮定しました。



図 5.2.16 TCP/IP の設定 「WINS アドレス」タブ

必要であれば、さらに「ルーティング」の設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。これらの設定の詳細についてはシステム管理者にご確認ください。



WindowsNT Server をご使用の場合は DHCP リレー タブがあります。DHCP リレーの詳細はWindowsNT Server のマニュアルまたはオンラインヘルプをご覧ください。

(17) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.17 バインドの確認

(18) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.18 ネットワーク起動の確認

(19) 「次へ (N)」ボタンをクリックしてください。ここでは「ワークグループ (W)」をそのまま使用すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。



図 5.2.19 ワークグループなどの設定

(20) 「完了」ボタンをクリックしてください。



図 5.2.20 インストールの完了

(21) WindowsNT のサービスパックをインストールしている場合、「はい (N)」ボタンをクリックし、サービスパックをインストールした後にコンピュータを再起動してください。

サービスパックをインストールしていない場合、「はい (Y)」をクリックしてコンピュータを再起動してください。

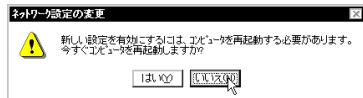


図 5.2.21 再起動の確認



重要 本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていたWindowsNT の最新のファイルが、CD-ROM の古いバージョンのファイルによって上書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンピュータを再起動する前に必ずサービスパックの再インストールをしてください。サービスパックをインストールせずにコンピュータを再起動すると、WindowsNT が起動できなくなることがあります。

5.3 インストールの確認とアダプターの設定

5.3.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース(I/Oアドレス、インタラプト)が割り当てられます。これらの値はPCI ローカルバス仕様により、コンピュータによって自動的に設定され、管理されます。割り当てられた値を確認するには Windows NT診断プログラムをご使用ください。

「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT診断プログラム」と進み、「リソース」タブをクリックすると、本デバイス「LA100V34」に割り当てられたリソースを確認することができます。



図 5.3.1 リソースの確認 (IRQ)

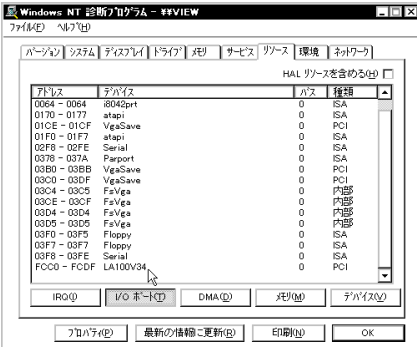


図 5.3.2 リソースの確認 (I/Oポート)



注意

コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

5.3.2 ドライバーの設定

ネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブをクリックしてください。



図 5.3.3 ネットワーク(「アダプタ」タブ)

- (2) 「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」をダブルクリックしてください。本製品の設定ダイアログが表示されます。

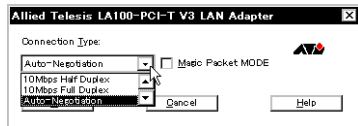


図 5.3.4 ネットワークメディアの設定

「Connection Type」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

100Mbps Half Duplex

100Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

100Mbps Full Duplex

100Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

10Mbps Half Duplex

10Mbpsの Half duplex (半二重) モードに設定します。

10Mbps Full Duplex

10Mbpsの Full duplex (全二重) モードに設定します。

Auto-Negotiation (デフォルト)

Auto-negotiation を有効 (Enable) に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のようになりますのでご注意ください。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合
可能な最高の速度 (10/100 Mbp) およびモード (Full/Half duplex) となります。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合
対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度 (100/10 Mbp) のみ自動的に検出し、検

出された速度のHalf duplex モードとなります。したがって、対向機器が 100Mbpsの Full duplex モードをサポートしていてもAuto-negotiation機能をサポートしていない場合に最高速度 (100Mbps Full duplex) を得るためには、前述の「100Mbps Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

Magic Packet Mode

チェックしない (デフォルト)

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可しないようにします。

チェックする「✓」

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packet による起動を許可します。

5.4 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えばUTPケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする (バインドしない) ことよって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「バインド」と進みます。「バインドの表示」で「全てのアダプタ」を選択してください。
- (2) 本製品のアイコンを選択し、「無効」ボタンをクリックしてください。本製品のアイコンが無効(⊘)アイコンになります。使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」ボタンをクリックします。

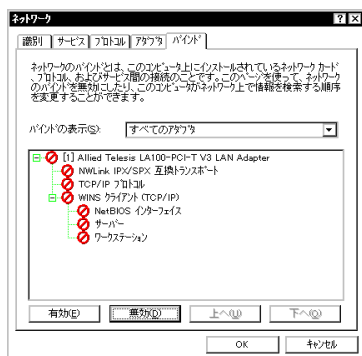


図 5.4.1 バインドの無効化

本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

- (1) 「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「ネットワーク」とどって行き、「ネットワーク」パネルの「アダプタ」タブをクリックしてください (図 5.3.3)。
- (2) 「ネットワークアダプタ (N):」で「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択し、「削除 (R)」ボタンをクリックしてください。



図 5.5.1 ネットワークアダプタを削除

- (3) フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

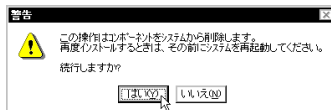


図 5.5.2 削除の確認

5.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「5.5 ドライバーの削除」の手順にしたい本製品のドライバーを削除します。
- (2) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、「アダプタ」タブで「追加..」ボタンをクリックしてください。「5.2.2 新規インストール」の手順 (5) から再開することになります。

5.5 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません (一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます)。したがって、

6 Windows NT Ver. 3.51

本製品のドライバーをWindows NT Ver. 3.51上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は、全くインストールされおらずこれからインストールします。
- Windows NT Ver. 3.51 Workstation を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答えます。

6.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順についてはWindows NTのマニュアル・ヘルプをご覧ください。



Windows NTのハードウェア互換性リスト(Windows NTパッケージに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



NECPC-9800、PC-9821、PC98-NX にインストールされたWindows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NECによって保証されていないインストール環境でのご使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので予めご了承ください。



本マニュアルに記載した内容は一例であり、お客様の使用するコンピュータやネットワーク環境によって、手順や表示画面が異なることがあります。予めご了承ください。



本製品のインストールをWindows NT のインストールと同時にすることは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT はPlug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行くと、Windows NT のインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。

サービスパックについて

Windows NTのサービスパックをインストールしているか確認してください。

「プログラムマネージャー」「管理ツール」「Windows NT診断プログラム」「OSバージョン(O)」と進むと、サービスパックの確認ができます。

「サービスパック:」が「4」以上であればサービスパックをインストールしていますので、ドライバーのインストール後、必ずサービスパックの再インストールをしてください。

6.2 ドライバーのインストール

6.2.1 用意するもの

- LA100-PCI-T V3アダプター本体、UTPケーブルなど
- コンピュータ (Windows NT 3.51インストール済み)
- Windows NT のCD-ROMまたはフロッピーディスク
- LA100-PCI-T V3ドライバーディスク (本製品に付属)
- Windows NTサービスパック(サービスパックをインストールしている場合のみ)

ドライバーディスクは「AT互換機/NEC PC98-NX用」「NEC PC-9800/PC-9821用」の2枚が用意されていますのでご注意ください。また、ドライバーは常に最新のものをご使用ください。最新のドライバーの入手方法は「C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法」をご覧ください。

6.2.2 新規インストール

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。



図 6.2.1 ネットワーク (コントロールパネル)

- (2) 「直ちにネットワークを組み込みますか?」の問いに対して、「はい」ボタンをクリックしてください。

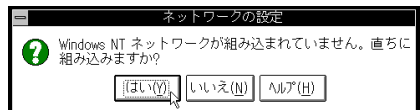


図 6.2.2 ネットワークの組み込み開始



ネットワーク環境が既にインストールされている場合は「ネットワークの設定」画面(画面6.2.11 参照)が表示されます。この場合は「アダプタカードの追加...」をクリックしてください。画面6.2.6 が表示され、本製品のためのインストールが始まります。

- (3) 「Windows NT セットアップ」が起動します。Windows NT のCD-ROMまたはフロッピーディスクをドライブに挿入し、AT互換機/NEC PC98-NXの場合は「D:¥386」、NEC PC-9800/PC-9821の場合は「Q:¥PC98」と入力してください。(ここではCD-ROMのドライブ名をAT互換機/NEC PC98-NXではD、NEC PC-9800/PC-9821ではQ:と仮定します。)

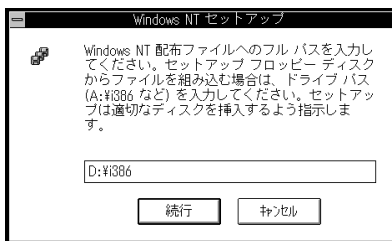


図 6.2.3 WindowsNT ファイルの所在の指定

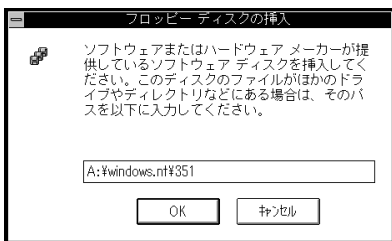


図 6.2.7 ドライバーの所在の指定

(4) 「検出しない」ボタンをクリックしてください。

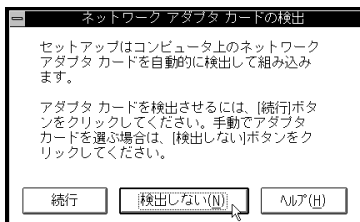


図 6.2.4 ネットワークアダプタカードを検出しない

(5) 「続行」ボタンをクリックしてください。

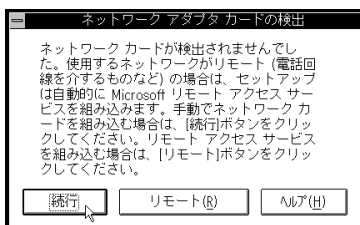


図 6.2.5 ネットワークカードを組み込みの確認

(6) 「ネットワークアダプタの追加」ダイアログが表示されます。「ネットワークアダプタカード(N):」リストボックスで「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」ボタンをクリックします。

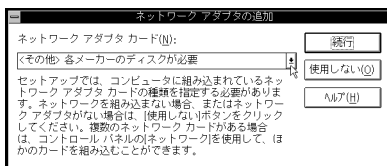


図 6.2.6 ネットワークアダプタカードの選択にディスクを使用

(7) 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「A:¥windows.nt¥351」を入力してください。(ここでは、フロッピーディスクドライブを A: と仮定します。)

(8) 「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。

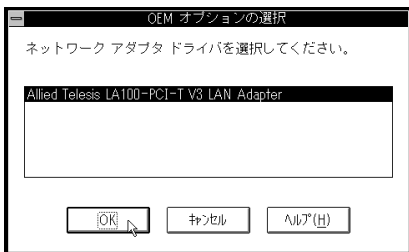


図 6.2.8 ネットワークアダプタドライバの確認

(9) ネットワークで使用されているプロトコルをチェックして「続行」ボタンをクリックします。お客様のネットワークでどのようなプロトコルが使用されているかは、システム管理者にご確認ください。ここでは、「TCP/IPトランスポート(T)」のみをチェックすると仮定します。

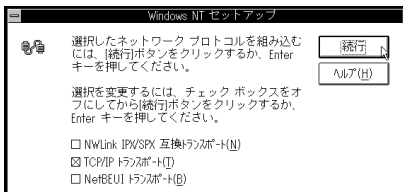


図 6.2.9 ネットワークプロトコルの選択

(10) 手順 9 で TCP/IP を選択した場合は TCP/IP オプションに関する設定画面が表示されます。お客様の環境に合わせて適宜設定し、「続行」ボタンをクリックしてください。

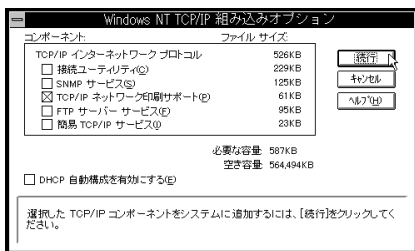


図 6.2.10 TCP/IP オプションの選択

- (11) ファイルのコピーが行われます。コピーが終了すると、下のダイアログが表示されます。「バインド(B)」ボタンをクリックしてください。

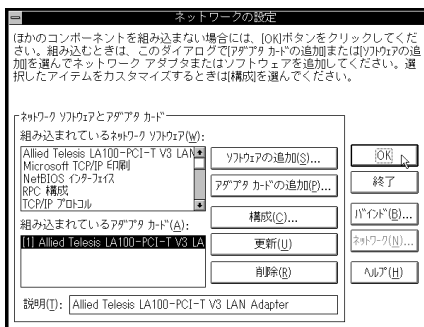


図 6.2.13 「OK」をクリック

- (14) ソフトウェアの設定に関する設定画面が表示されます。ここではTCP/IPの場合について説明します。以下の画面は一例です。設定内容についてはシステム管理者にご確認ください。設定を終えたら「OK」ボタンをクリックしてください。

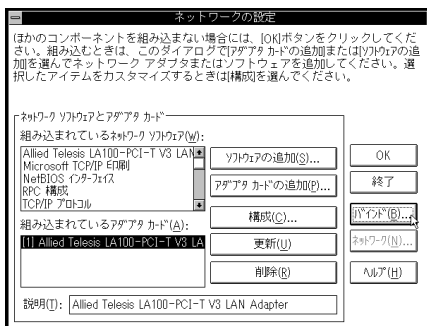


図 6.2.11 「バインド」をクリック

- (12) 「OK」ボタンをクリックしてください。プロトコルスタックが本製品にバインドされます。

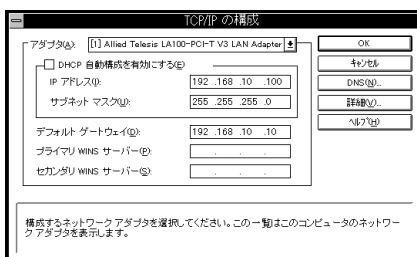


図 6.2.14 TCP/IP の構成 (起動時)



図 6.2.12 バインドの設定

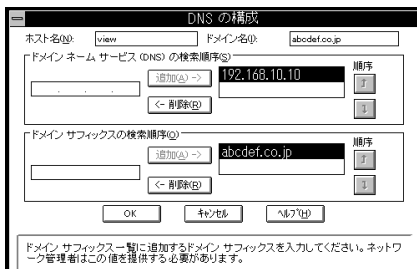


図 6.2.15 DNS の構成 (図 6.2.14 で「DNS」をクリック)

- (13) 「OK」ボタンをクリックします。

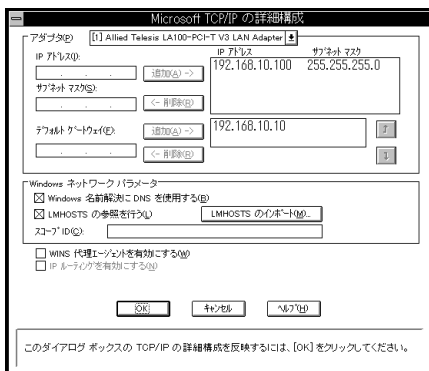


図 6.2.16 TCP/IPの詳細設定 (図 6.2.14で「詳細」をクリック)

- (15) 続いて「ドメイン/ワークグループの設定」が表示されます。ここでは、「ワークグループ」に参加すると仮定します。詳細はシステム管理者にご確認ください。

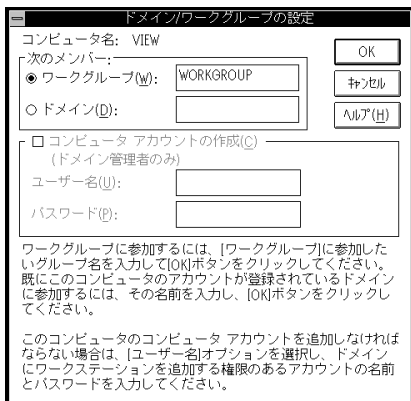


図 6.2.17 ドメイン/ワークグループの設定

- (17) 下の画面が表示されたらフロッピーディスクをディスクドライブから取りだし、「コンピュータの再起動」アイコンをクリックして、再起動します。これで設定内容が有効化されます。

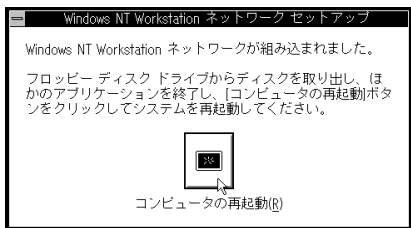


図 6.2.18 コンピュータの再起動



重要

本製品のドライバーをインストールすると、サービスパックによってインストールされていたWindowsNTの最新のファイルが、CD-ROMの古いバージョンのファイルによって上書きされます。サービスパックをインストールしている場合、コンピュータを再起動後、サービスパックの再インストールをしてください。

6.3 インストールの確認とアダプターの設定

6.3.1 リソース値の確認

コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース(I/Oアドレス、インタラプト)が割り当てられます。これらの値はPCIローカルバス仕様により、コンピュータによって自動的に設定され、管理されます。割り当てられた値を確認するにはWindows NT診断プログラムをご使用ください。

「プログラムマネージャー」「管理ツール」「Windows NT診断プログラム」「IRQ/ポートの状態(!)」と進むと、本デバイス「LA100V3」(*は番号)に割り当てられたリソースを確認することができます。

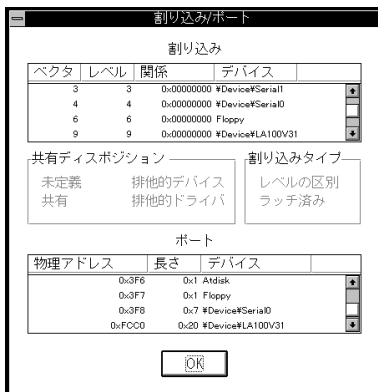


図 6.3.1 割り込み / ポートの確認



コンピュータに予め組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の2つを用いて確認を行ってください。

6.3.2 ドライバーの設定

ネットワークメディア(ネットワークケーブルおよび通信モード)の設定を行います。

- (1) 「プログラムマネージャ」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択し、「構成(C)...」ボタンをクリックします。

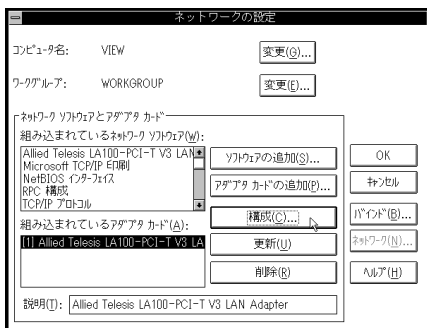


図 6.3.2 ネットワークの設定

- (2) 本製品の設定ダイアログが表示されます。

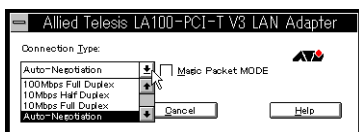


図 6.3.3 ネットワークメディアの設定

「Connection Type」リストからご使用の環境に合ったものを選択します。詳細はシステム管理者にご確認ください。各項目の意味は以下の通りです。

Connection Type

100Mbps Half Duplex

100Mbpsの Half duplex（半二重）モードに設定します。

100Mbps Full Duplex

100Mbpsの Full duplex（全二重）モードに設定します。

10Mbps Half Duplex

10Mbpsの Half duplex（半二重）モードに設定します。

10Mbps Full Duplex

10Mbpsの Full duplex（全二重）モードに設定します。

Auto-Negotiation（デフォルト）

Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、対向機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしている場合
可能な最高の速度（10/100 Mbp）およびモード（Full/Half duplex）となります。

対向装置が Auto-negotiation をサポートしていない場合
対向装置が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto-Negotiation」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbpの別）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、対向機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしている場合にも Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度

（100Mbps Full duplex）を得るためには、前述の「100Mbps Full Duplex」を選択する必要がありますのでご注意ください。

Magic Packet Mode

チェックしない（デフォルト）

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packetによる起動を許可しないようにします。

チェックする「✓」

Wake on LAN機能が使用可能なとき、Magic Packetによる起動を許可します。

6.4 本製品を使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えばUTPケーブルを本製品から外しているなどの場合は、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする（バインドしない）ことによって回避できます。

- (1) 「コントロールパネル」「ネットワーク」「ネットワークの設定」「バインド(B)...」と進みます（図6.2.11,12参照）。
- (2) 本製品に関する項目全てについて、左端の電球のマークをダブルクリックして（または、項目を選択して「無効」ボタンをクリックして）、電球が消えている状態にしてください。

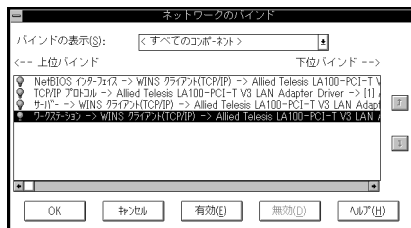


図 6.4.1 ネットワークのバインド

6.5 ドライバーの削除

本製品の登録内容を削除し、再びインストールする手順は以下のとおりです。ただし、ドライバーを削除しても、本製品にバインドしていたプロトコルやサービスは削除されません（一部の設定値、例えばTCP/IPにおけるIPアドレスなどは削除されます）。したがって、本製品を再インストールすれば、再びそれらのプロトコル、サービスなどを使用できます。

- (1) 「メイン」「コントロールパネル」「ネットワーク」とたどって行き、「ネットワークの設定」ダイアログを表示します。「組み込まれているアダプタカード」リストから「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

6.6 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

- (1) 「6.5 ドライバーの削除」の手順にしたがいたい本製品のドライバーを削除します。
- (2) コントロールパネルのネットワークをダブルクリックし、「アダプタカードの追加...」ボタンをクリックしてください。「6.2.2 新規インストール」の手順6から再開することになります。

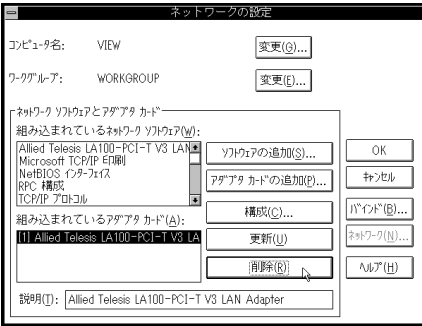


図 6.5.1 アダプタカードの削除

- (2) 「はい」ボタンをクリックします。

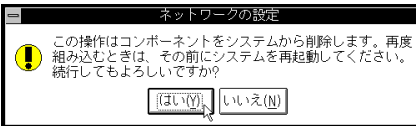


図 6.5.2 削除の確認

- (3) 「組み込まれているアダプタカード」から「Allied Telesis LA100-PCI-T V3 LAN Adapter」が消えていることを確認して「OK」ボタンをクリックします。

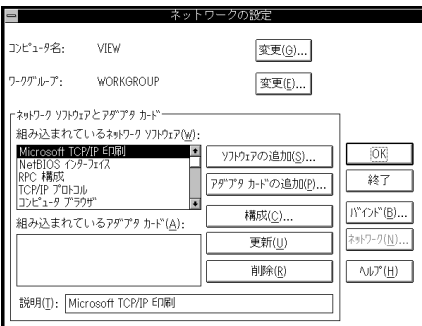


図 6.5.3 削除後のネットワーク設定

- (4) フロッピーディスクが入っている場合は取り出して、「再起動する」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

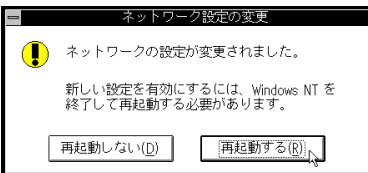


図 6.5.4 再起動の確認

7 ネットワークのトラブル

「通信できない」とか「故障かな？」と思われる前に、以下のことを確認してください。

LINK LED は点灯していますか？

LINK LED は、ハブ(またはスイッチ)と正しく接続されている場合に点灯します。LINK LED は、本製品とハブの両方に存在します。本製品とハブの両方のLINK LED が点灯していることを確認してください。どちらか一方しか点灯していない、または両方とも点灯しない場合は、以下のことを確認してください。

- ハブの電源がオンになっているか確認してください。
- UTPケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- 正しいUTPケーブルを使用しているか確認してください。本製品とハブとの接続には「ストレートタイプのケーブル」を使用しなければなりません。
- ハブのポートの設定が正しいか確認してください。ハブ機種によっては、ハブ同士を接続するためのポート(カスケードポート)を持つものがあり、通常カスケードポートには設定スイッチが存在します。カスケードポートに本製品を接続するときは、カスケードポートの設定スイッチで同ポートを「MDI-X」や「to pc」に設定しなければなりません(通常のハブのポートとして設定する)。
- ハブの特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- UTPケーブルに問題はありますか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試験してみてください。
- ハブの通信速度を確認してください。各OSの「ドライバーの設定」を参考にして、対向機器に合った速度を選択してください。

LINK LED は点灯しているが...

LINK LED は点灯しているが、通信が遅いなどの障害が発生している場合、以下のことを確認してください。

- UTPケーブルの長さは正しいですか？ ふたつのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは、最長100mと規定されています。
- 正しいUTPケーブルを使用していますか？ 100BASE-TXでは「カテゴリー5」、10BASE-Tで「カテゴリー3」以上のUTPケーブルを使用しなければなりません。
- UTPケーブルに問題はありますか？ ケーブルの不良は外観から判断しにくい(結線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試験してみてください。

A 付録

A.2 10BASE-T/100BASE-TX インターフェース

A.1 製品仕様

1. ハードウェア仕様

信号	: IEEE802.3u	100BASE-TX
	: IEEE802.3	10BASE-T
	: IEEE802.3u	Auto-negotiation

2. 機械的仕様

PCI インターフェース:	PCI ローカルバス仕様 Rev. 2.2に準拠
外形	: 134 [mm]× 68 [mm] (ブラケット部分を除く)
WOL ケーブル長	: 約 330 [mm] (コネクタ部も含む)
重量	: 約 75g

3. 電気的仕様

動作電圧	: DC + 5.0V ± 5% (+5V, +5Vsb)
	: DC + 12.0V ± 5% (+12V)
最大消費電流	: 330mA@5.0V (+5V)
	: 250mA@5.0V (+5Vsb)
	: 1mA@12.0V (+12V)

4. 環境条件

動作保証温度	: 0 ~ 55
保存温度	: -20 ~ 65
動作・保存湿度	: 95%以下 (但し、結露なきこと)

5. 電気雑音の発生防止

雑音端子電圧	: VCCI クラス B
雑音電界強度	: VCCI クラス B

6. ネットワーク機能

転送速度	: 10Mbpsまたは 100Mbps
通信モード	: 半二重または全二重

7. 使用するハードウェア資源

割り込み(IRQ)	: 1チャンネルを使用
I/Oアドレス	: 連続した 32バイトを使用
メモリー	: 連続した 32バイトを使用



これらは、PCI ローカルバス仕様により自動的に設定されます。ボード上あるいはソフトウェアから設定する必要はありません。

10BASE-T/100BASE-TXインターフェース (MDI) は、RJ-45型と呼ばれるモジュージャックが使用されています。



図 A.1 RJ-45 モジュージャック、プラグ

ピン番号	信号 (MDIポート)
1	送信データ (+)
2	送信データ (-)
3	受信データ (+)
4	未使用
5	未使用
6	受信データ (-)
7	未使用
8	未使用

図 A.2 信号線名

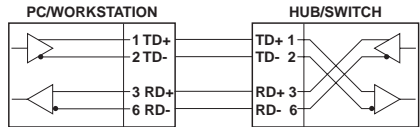


図 A.3 UTP ケーブル (ストレートタイプ)

A.3 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト (48 ビット) によって構成されており、本製品の 内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記入されています (表記は全て 16 進数)。

00 00 F4 97 xx xx
ベンダー ID 通し番号

- ベンダー ID
LANベンダー (LAN用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号。
- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、97から始まる 6桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号シール」の番号に関連はありません。



MAC アドレス(マックアドレスと読みます)は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用されるIP アドレスに関係がありますが、これらは別べつのもです。

A.4 Wake on LAN®

A.4.1 Wake on LAN® とは

コンピュータの電源をネットワーク上の他のコンピュータからオンできる機能です。

この方法により、コンピュータのある場所に行かなくてもコンピュータを起動することができます。また、コンピュータは消費電力のきわめて低い動作モードに入ることができ、必要なときのみ起動できるので、省電力にもつながります。

Wake on LAN® は、Remote Wake Up とも呼ばれます。

A.4.2 Wake on LAN® の必要条件

本製品を取り付けるコンピュータのマザーボード上に Wake on LAN® 用のコネクタがあり、BIOS がウェイクアップイベントをサポートする必要があります。また、起動させる側のコンピュータは、Magic packet (A.4.4 Magic packet を参照) を送出できる環境が必要です。

A.4.3 Wake on LAN® コネクタへの接続



WOL ケーブルを接続するときは、必ずコンピュータの電源をオフにしてください。電源をオンにしたままこの作業を行うとコンピュータや本製品の故障の原因となることがあります。

- (1) コンピュータの電源プラグが電源コンセントから外れていることを確認します。
- (2) 本製品の Wake on LAN® コネクタに付属の WOL ケーブルを接続します。
- (3) ケーブルの片端をマザーボード上の Wake on LAN® 用コネクタに接続します。マザーボード上の Wake on LAN® 用コネクタの位置は、コンピュータにより異なります。



コンピュータによっては、BIOS または OS の設定を変更して、Wake on LAN® 機能を動作可能な状態にしなければならないこともあります。詳しくは、コンピュータに付属のマニュアルを参照してください。



注意

付属の WOL ケーブルは、お使いのコンピュータ機種によってはご使用になれない場合があります。

- (4) コンピュータを起動したら、「コントロールパネル」「ネットワーク」のドライバーの設定で、「Magic Packet Mode」を ON (Windows NT4.0/3.5 では、チェックする「✓」) にしてください。ドライバーの設定の仕方について詳しくは、各 OS の「ドライバーの設定」を参照してください。

A.4.4 Magic packet

本製品は、ネットワーク経由で送出された Magic packet と呼ばれる特定の情報パケットを受けとることにより、コンピュータの電源をオンにします。

Magic packet の概要

Magic Packet Mode が有効な状態でコンピュータが休眠状態になると、本製品のネットワークコントローラチップを除くシステム全体がパワーダウン状態になります。

このとき、ネットワークコントローラは、ノード宛に入ってくる全てのフレームをスキャンし、Magic Packet フレームであることを示す特定のデータシーケンスを探します。Magic Packet フレームは、ソースアドレス、デスティネーションアドレス(受信側の IEEE アドレス)、またはブロードキャストアドレスを含むマルチキャストアドレス)、CRC など、使用しているネットワークの基本的条件も満たしている必要があります。データシーケンスはブ레이크も割り込みもなく、ノードの IEEE アドレスを 16 回繰り返すことによって構成されます。

このシーケンスは、パケット内のどこに位置していても構いませんが、必ず同期化ストリームの後に続いていなければなりません。16 回繰り返される IEEE アドレスが、起動対象のコンピュータのアドレスと合致していれば、デバイスは、ブロードキャストフレームも受信します。

このシーケンスは、TCP/IP パケット、IPX パケットなど、どのパケットにでも入れておくことができます。

また、Magic Packet フレームは、ネットワーク内で自由にブリッジしたり、ルーティングしたりでき、その場合でもフレームの宛先ノードを起動するという機能には影響を与えません。

フレームをスキャンした結果、上記のような特定シーケンスが見つからなければ、ネットワークコントローラは、フレームを破棄し、それ以上の動作は行いません。シーケンスを検出した場合は、コンピュータのパワーマネジメント回路にアラートを送り、システムを起動します。

B 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

C ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については、「C.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡の遅れることもございますので、予めご了承ください。

アライドテレスイス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772

月～金（祝・祭日を除く）10:00-19:00

土（祝・祭日を除く）10:00-17:00

Fax: ☎ 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け

C.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン

本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev.)を調査依頼書に記入してください。

例) 
S/N 000770000002346 Rev 1A

2. ご使用の当社のソフトウェア

当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン(Ver.)、シリアル番号(S/N)を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。

3. ご使用のコンピュータの機種

ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。

4. ご使用の周辺機器

CD-ROMドライブ、サウンドボード、SCSIボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。

5. ご使用のサーバー、UNIXシステムの機種、OSなど

接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。(例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5など)

お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- Windows95/98/Nの場合、可能な限り、お手数ですがシステムレポート(OSが自動生成するシステムに関するレポート、名称はOSによって異なります)を出力し、添付いただきますようお願いいたします。

接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

C.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98/Nが自動生成するシステムに関するレポート(名称はOSによって異なります)で、以下の手順で印刷することができます。

Windows95/98の場合

- コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

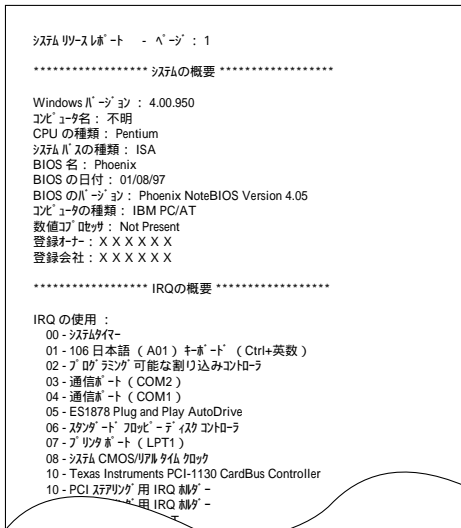
Windows NT Version 4.0の場合

- 「スタート」「プログラム」「管理ツール(共通)」「Windows NT 診断プログラム」と進み、「Windows NT 診断プログラム」を起動します。

- (2) 「印刷(N)...」ボタンをクリックします。
- (3) 「レポートの作成」が表示されます。各オプションについては、「範囲」は「すべてのタブ(A)」を、「詳細レベル」は「完全(M)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

Windows NT Version 3.51の場合

- (1) 「プログラムマネージャ」「管理ツール」と進み、「Windows NT 診断プログラム」アイコンをダブルクリックして起動します。
- (2) 「ファイル(F)」メニューの「レポートの印刷(P)...」コマンドを選択します。
- (3) 「レポートオプションの印刷」オプションでは「すべてレポートする(R)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。



システムレポートの出力例 (Windows95 の場合)

C.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape NavigatorなどのWebブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teleasis.co.jp/>」にアクセスします。
- (2) 「サポート」の「ダウンロード」をクリックしてください。
- (3) 「LANアダプター・ドライバー一覧リスト」をクリックしてください。
- (4) LANアダプターの一覧から選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング (Tel: 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月 ~ 金) までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス(株)が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス(株)が保有しています。アライドテレシス(株)に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- (2) アライドテレシス(株)は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス(株)は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©1999アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM、CentreNETはアライドテレシス株式会社の登録商標です。Windows、Windows NT、MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。

Wake on LANは、IBM Corporationの登録商標です。

Magic Packetは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。

その他、この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年 5月 Rev.A 初版

調査依頼書(CentreCOM LA100-PCI-T V3 2/2)

年 月 日

お問い合わせ内容	別紙あり	別紙なし
セットアップ中に起こっている障害	セットアップ後、運用中に起こっている障害	

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。

